

企業版ふるさと納税 プロジェクトシート

【地域再生を図るために行う事業】
地方への新しい人の流れをつくる
【プロジェクトの名称（タイトル）】
国登録有形文化財「重田家住宅」の保存と活用
【寄附目標額、その他交付金・補助金等（あれば）、総事業費】
寄附目標額：7,900,000 円、総事業費：8,000,000 円
【参考写真】

【プロジェクトの概要】
<p>玉村町では、国登録有形文化財である「重田家住宅」の保存、活用する事業への寄附を募集しています。</p> <p>保存事業…建物調査、敷地内の庭木樹木管理、建物等の保存管理、駐車場整備、ピアノ修理 活用事業…「重田家住宅」が令和5年に築140年を迎えたことから記念事業、季節催事の実施</p> <p>【築140年記念事業】の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none">・文化財ウォーキングラリー・重田家住宅健康塾・学校式重田家住宅・季節の催事等 <p>重田家が「門をくぐるだけで病が治る」といわれた医家の歴史を持つことから、令和5年度では「健康」をテーマにした地域交流イベントを実施するほか、七夕まつりやお月見会等の季節催事を行います。また、不足している来場者用の駐車場整備や重田家住宅にある約100年前のピアノを修理して、歴史ある音色で演奏会を開きたいと考えています。</p> <p>《国登録有形文化財「重田家住宅」について》 玉村町小泉地区にある重田家は、江戸時代の中頃から代々医師を家業としていました。棟札に明治16年（1883）上棟として記されており、主屋・穀蔵・西の蔵・東の蔵・外便所・井戸屋形・表門及び塀等があり、この7棟が国の登録有形文化財となっています。令和3年、土地建物が所有者の重田家より玉村町に寄贈されました。</p> <p>地域活性化に資する活用を通じて、重田家住宅を地域の財産として守り、伝え、保存する活動に取り組みます。</p>
【ジャンル（タグ）】複数回答可、自作あり

まちづくり、健康、文化財、地域交流、地域活性化
【事業年度（予定）】
令和5年度
【寄附で得られるベネフィット（寄附企業のメリット）】
10万円以上寄附・・・広報たまむら及び町HPへ企業名掲載 ※広報は1度のみ、HPは1年間掲載 100万円以上寄附・・・（希望に応じ）感謝状贈呈、広報たまむら及び町HPへ企業名、企業の取組（町HPのみ）を紹介。※広報は1度のみ、HPは5年間掲載
【寄附を募る理由】
「重田家住宅」という貴重な文化財を次世代へ継承していきたいです。 そのためには、建築から140年経過し、広大な敷地を有している「重田家住宅」の建物・庭を保存、維持管理する必要があります。 また、歴史的建造物としての価値を高め、多くの人に親しんでもらうためには「重田家住宅」を活用した事業を実施する必要があります。
【ポリシー】
地域活性化につながる活用に取り組み、地域の皆さんと共に「重田家住宅」の価値を共有することで、保存活動につなげていきます。また、「重田家住宅」が医家の歴史を持つことから訪れた人が元気になれるような拠点づくりを目指し、玉村町の新たな魅力として発信していきます。
【困りごと】
「重田家住宅」では、定期的な公開、活用に向けて取り組んでいますが、建物等の緊急の修繕や、不足している来場者用の駐車場の確保等が必要です。また、多くの方々に「重田家住宅」の存在や文化財としての価値を知ってもらう機会を作るため、約100年前のピアノを修理して、歴史ある音色で人と地域をつなげたいと考えています。
【メッセージ】
玉村町では、医家の歴史がある「重田家住宅」を活用して「人と地域を元気にしたい」「建造物としての価値を知ってもらい、重田家住宅が永く愛される文化財となってほしい」と考えています。皆さんと共に、この貴重な文化財を大切に保存、活用し、地域の財産として次世代へ引き継げるよう、ご支援・ご協力をお願いします。
【進捗報告】
有識者や地元住民、まちづくり団体のメンバーによる歴史浪漫たまむら委員会により、活用方法を検討しています。 重田家住宅：令和4年度は定期的な公開、活用に向け月1～2回イベントを実施、水・木・金曜日を開館し、資料整理等を進めています。